

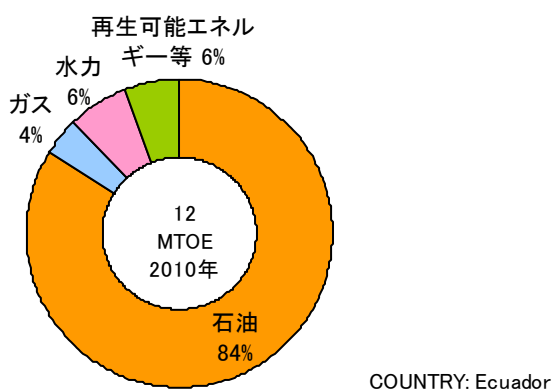
3-11 エクアドル

1. サマリー

1. エネルギー事情

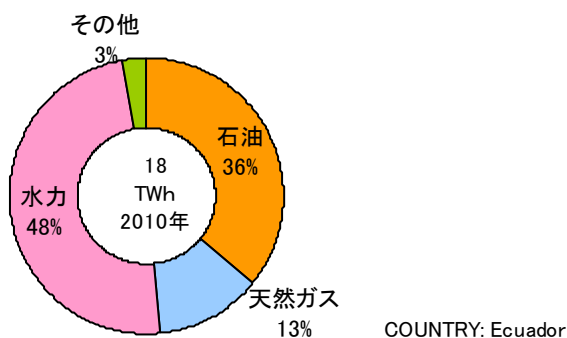
- (1) 一次エネルギー供給量 (2010年) : 12 百万 TOE (日本の 0.03 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2010年) : 0.84TOE/人 (日本の 0.23 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2010年) : 226%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 30.1 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 0.026 倍)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 2.08CO₂ 換算 ton/人 (日本の 23.2%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2011年末) : 原油 33.2 年

一次エネルギー供給構成 (2010年)



(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012

発電電力量構成 (2010年)



(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- エクアドルの主要エネルギー担当機関は、非再生資源省（Ministerio de Recursos Naturales No Renovables）と電力再生資源省（Ministerio de Electricidad y Energía Renovable）である。非再生資源省は鉱物と石油だけではなく非再生可能エネルギー資源全部を担当することになっている。

(2) 基本政策

- 2007年1月に誕生したCorrea政権は、近隣のベネズエラやボリビアと同様に資源ナショナリズム政策を採り、資源開発を積極的に推進することで石油等からより多くの収入を得て、支持基盤である貧困層の救済を図ることを目指している。
- 2012年7月、Jorge Glas 戦略部門調整大臣は、エクアドル鉱業フォーラムにおいて、Correa 政権は原油輸出国から再生可能エネルギー輸出国へと経済モデルの転換を指向しているとした。

(3) 最近の動向

- 2011年12月、Correa 大統領は大統領令 968 号に署名し、航空機に使用されるジェット燃料に対する補助金（約\$9,200万/年）カットを正式に決定した。
- 2011年12月、Correa 大統領は「経済同盟であるアンデス共同体（CAN）とMercosurとの協調関係を強化したい」とウルグアイで開催されたMercosur サミットで語った。新興国の経済同盟に参加することは、近年、従来のパートナーである米国への輸出が減少しているエクアドルにとっては大きな便益がもたらされる機会となる可能性がある。
- 2012年4月、Jorge Glas 戦略部門調整大臣は訪中し、太平洋製油所（RDP: Refineria de Pacifico）建設計画に係わる新規融資交渉を行った。同製油所の総工費は、\$125億6,000万とされている。

3. 日本とエネルギー分野における関係

- 2010年3月、日本政府は、エクアドルのGalapagos 諸島、Baltra 島空港に整備されることになる太陽光発電システムの導入支援で、8億6,000万円の無償資金協力を行うと発表した。
- 2011年のエクアドルからの原油輸入量は57.9万klで、輸入額は約297億円で総輸入量の0.3%であった。

2. 主要エネルギー指標

(2010年)

(1)	一次エネルギー供給量	12.10	百万 TOE
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	0.84	TOE/人
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.27	TOE/千\$
(4)	エネルギー自給率	226	%
(5)	エネルギー起源 CO ₂ 排出量	30.1	百万 CO ₂ 換算 ton
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO ₂ 排出量	2.08	CO ₂ 換算 ton/人
(7)	エネルギー源別構成率		
	石炭	0	%
	石油	84.0	%
	ガス	4.0	%
	原子力	0	%
	水力	6.1	%
	再生可能エネルギー等	6.0	%
(8)	エネルギーの輸入依存度	-126	%
(9)	石油の輸入依存度	-151	%
(10)	輸入原油の中東依存度	-	%
(11)	原油輸入先		
	第1位	-	
	第2位	-	
	第3位	-	

(出所) : (1) ~ (4) 及び (7) ~ (9) は IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries, 2012
(5)、(6) は IEA, CO₂ Emissions from Fuel Combustion, 2012